

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 27 年 1 月 22 日 (2015.1.22)

【公開番号】特開 2013-224009 (P2013-224009A)

【公開日】平成 25 年 10 月 31 日 (2013.10.31)

【年通号数】公開・登録公報 2013-060

【出願番号】特願 2012-267495 (P2012-267495)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

H 0 1 B 5/14 (2006.01)

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/00 B

H 0 1 B 5/14 A

G 0 6 F 3/041 3 3 0 A

G 0 6 F 3/041 3 5 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 3 日 (2014.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 光透過性支持層；

(B) 光学調整層；及び

(C) 酸化インジウムスズを含有する光透過性導電層

を含有し、

前記光学調整層 (B) が、前記光透過性支持層 (A) の少なくとも一方の面に、直接又は一以上の他の層を介して配置されており、かつ

前記光透過性導電層 (C) が、前記光透過性支持層 (A) の少なくとも一方の面に、少なくとも光学調整層 (B) を介して配置されている光透過性導電性フィルムであって：

前記光学調整層 (B) が、ジルコニアを含有し、かつ厚さ  $0.4 \sim 3 \mu\text{m}$  であり；かつ薄膜法による XRD 測定において、ジルコニアに由来する  $2\theta = 28^\circ$  付近のピークの、酸化インジウムスズに由来する (222) 面のピークに対する比が  $1.2 \sim 1.2$  であることを特徴とする、光透過性導電性フィルム。

【請求項 2】

前記ジルコニアの平均粒子径が、 $10 \sim 40 \text{ nm}$  である、請求項 1 に記載の光透過性導電性フィルム。

【請求項 3】

前記光透過性導電層 (C) が、酸化インジウムスズを含有する層を大気中  $90 \sim 160$  で  $10 \sim 120$  分間加熱することにより得られうる、請求項 1 又は 2 に記載の光透過性導電性フィルム。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の光透過性導電性フィルムを含有する、タッチパネル。